

# 人材育成コース 資料

令和3年度 相談支援従事者指導者養成研修  
日時：2022年3月2日

---

## ガイダンス

**11:10-11:25**

1. 今日の目的とスケジュール
2. 9月の指導者研修の振り返り

# 今日の目的

## 〈目的〉

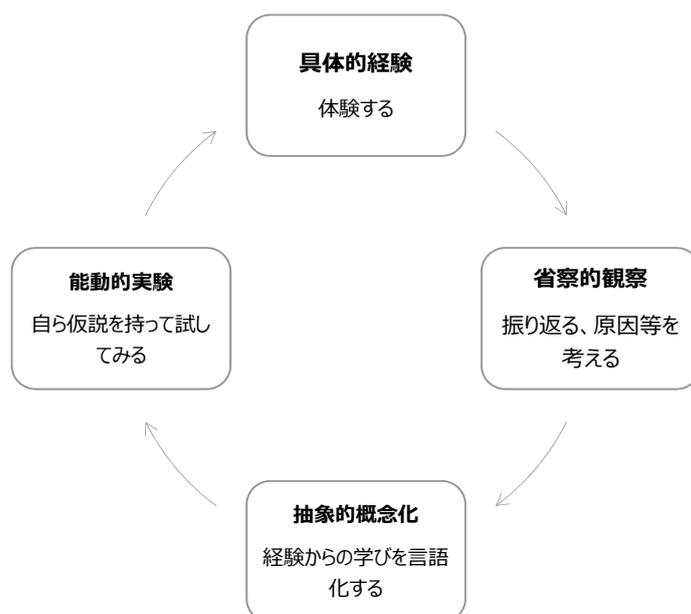
- 相談員個人また都道府県としての振り返りを行う。
- 次年度に向けたアクションプラン等の準備をする。



## 〈具体的には・・・〉

- 9月以降に実施したスーパービジョンについて、事前課題の共有を行う。
- 法定研修と業務実施地域の実地教育の連動について、事前課題の共有を行う。
- グループ内で実施した取り組みの内容を共有して、次年度に向けたアクションプラン作成の際の参考にする。

## 経験学習モデルを参考に



- 人材育成コースでは、具体的経験を省察的考察し、抽象的概念化までを行います。
- その後の時間のアクションプランは能動的実験の計画のように考えていただければと。

# 本日のスケジュール

時間	内容
11:10-11:25	ガイダンス
11:25-12:00	演習 事前課題の共有① SVについて
12:00-13:00	昼休憩
13:00-13:35	演習 事前課題の共有①のつづき
13:35-13:50	全体共有
13:50-14:00	休憩
14:00-14:45	演習 事前課題の共有② 法定研究と実地教育の連動
14:45-15:00	全体共有

## 演習について

- 演習はブレイクアウトセッションにて行います。
- グループは9月と同じグループになります。
- 2つのグループごとに1名の講師を配置します。
- 演習の進め方や内容で不明な点等がありましたら、講師に相談してください。

ということで、講師の紹介に移ります。

## スーパービジョンと「関係の形成」について

本日取り上げるスーパービジョンの技術は「傾聴」を基本としたものです。

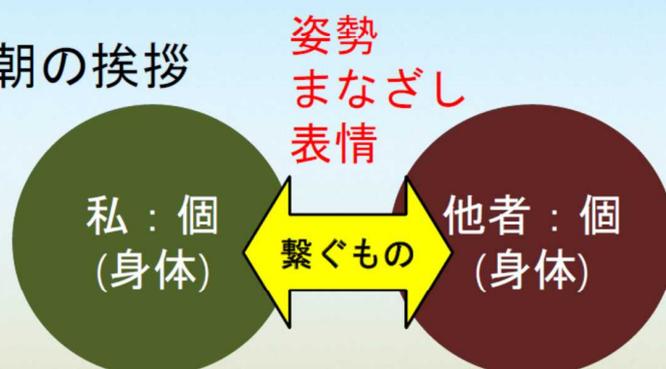
従って、バイザーとの関係を形成することが基本となります。そこで、最初に人との関係の形成について検討した後、スーパービジョンの技術についてお話をしたいと思います。

22

令和3年度相談支援従事者指導者養成研修資料より

## 関係の構築とは？

例：朝の挨拶



個と個を繋ぐ基礎となるものは？

34

令和3年度相談支援従事者指導者養成研修資料より

## 言葉（相互対話性）

姿勢（同型性）

視線・まなざし（相互志向性）

表情（相互意味性）



35

令和3年度相談支援従事者指導者養成研修資料より

## 支援技術としての傾聴

（スーパーバイズの技術）

傾聴とは利用者や職員等の  
関係を形成する技術ではなかったの？



傾聴がスーパービジョンなの？



46

令和3年度相談支援従事者指導者養成研修資料より

## 傾聴を基本とした、スーパービジョ ン



困っている内容を傾聴し、  
話している本人が自分で  
困りごとを解決していく  
技術

47

令和3年度相談支援従事者指導者養成研修資料より

## 傾聴の技術

ステップ1：相手の傍らで、心を開き、意識を集中する

ステップ2：言葉を聞くのではなく、相手の気持ちに近づく

ステップ3：話の内容を短くまとめて相手に返す

ステップ4：相手の今後の方向性に対する考えを引き出す

ステップ5：相手の考えを認め、具体的な行動を引き出す

令和3年度相談支援従事者指導者養成研修資料より作成

# 実地教育とは

2019年度主任相談支援専門員養成研修の「人材育成の意義と必要性」の中で、以下のように定義されています。本研修でも以下の定義を採用します。

実践知を養い熟達化するための実務・実践場面での取り組みについて、本研修では実地教育（OJT）と定義する。

業務実施地域で行われるスーパービジョン、業務内で行われる研修についても実地教育（OJT）として整理している。

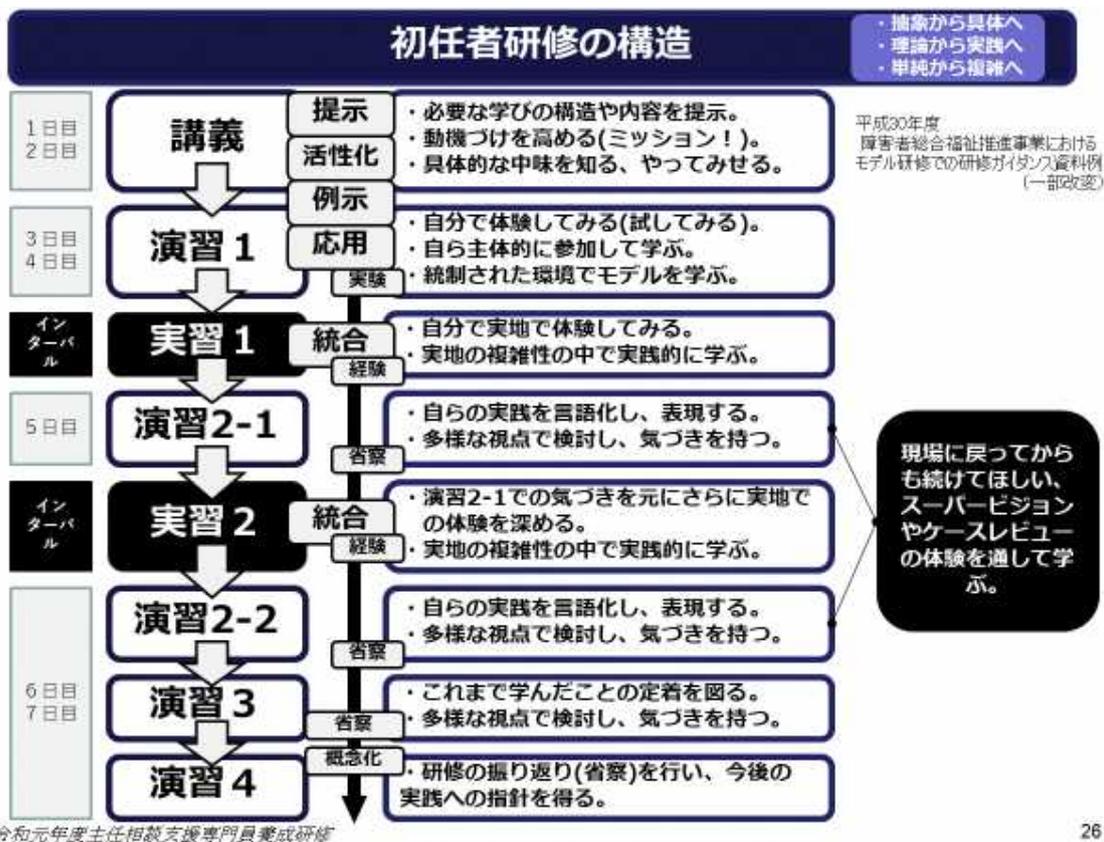
---

## OJT(On the Job Training)とは

2019年度主任相談支援専門員養成研修の「人材育成の意義と必要性」の中で、以下のように紹介されています。

組織内で行われるものに限定されるのではないかとの指摘を受けることがあるが、定義には諸説ある。その中での共通点は、現場知・実践知の熟達化のための実践場面での教育をOJTと定義していることである。

# 法定研修における実地教育とは



## 法定研修における実地教育の内容

### 〈実習 1〉演習 1 と演習 2 - 1 の間に実施

講義及び演習 1 で学んだ内容を踏まえて、自身自らで情報収集・アセスメント、ニーズ整理を行う。その際、所属長や地域の基幹相談支援センター等の確認を受けると良い。

### 〈実習 2〉演習 2 - 1 と演習 2 - 2 の間に実施

- ① 演習 2 - 1 の指摘を踏まえ、再アセスメント、プランニングを行う。
- ② 地域資源の実際について理解するため、自立支援協議会等へ参加する。

# 法定研修における実地教育の目的

〈実習1〉演習1と演習2-1の間に実施  
演習で学んだケアマネジメントの流れを自分で実体験する。

〈実習2〉演習2-1と演習2-2の間に実施  
自分の地域の社会資源を知る。OJTを受ける体験をする。

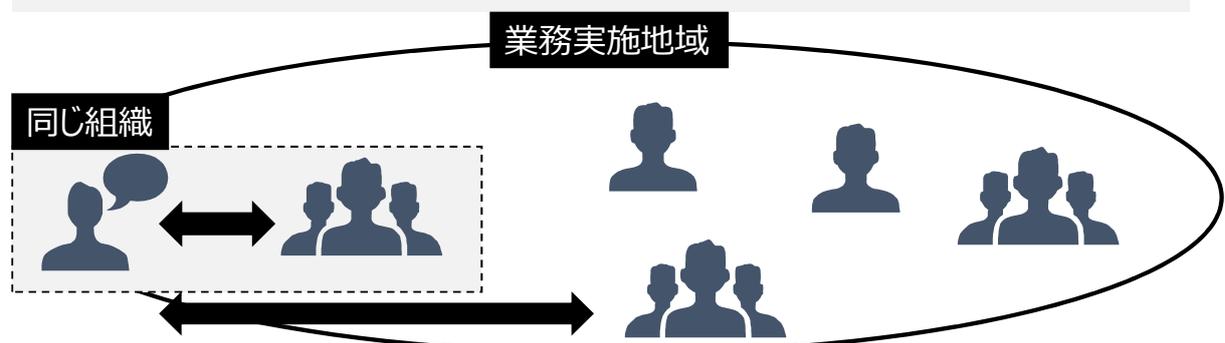


「研修終了後の相談支援専門員の生涯学習においても、地域で教育を受けるために基幹相談支援センターなどの事業所や先輩や指導者につなぐことを目的として、実地研修（OJT）との連動が初任者研修の段階から導入されている。」

障害者相談支援従事者研修テキスト初任者研修編 P15、P261より

## 業務実施地域における実地教育の例

- 地域の相談員による電話やメール等の相談への対応
- 地域の相談員が行う会議や面談等への同行
- 委託・特定相談支援事業所に訪問して相談を受ける
- スーパービジョン（グループスーパービジョン含む）の実施
- 事例検討会の開催
- 研修会の開催



## 地域の人材育成を担う側の育成と事務局機能

基幹相談支援センター等  
(主任相談支援専門員)

想定される人材育成エリアでの実践

1. 主任相談支援専門員の育成  
《対象: 育成する側》

3. OJTと実地教育機能

《対象: 初任者・現任者》

基本相談・計画相談実践

★ 基幹相談支援センター等の育成側の

人材育成経験

都道府県法定研修受講

全国相談支援従事者指導者養成研修受講

※ 都道府県研修企画参画

主任相談支援専門員養成研修(H30: 31)

基幹 主任相談支援専門員

初任

初任

初任

初任

初任

現任

現任

現任

現任

現任

事務局

市町村

★ 企画運営経験

2. 都道府県相談支援従事者養成研修

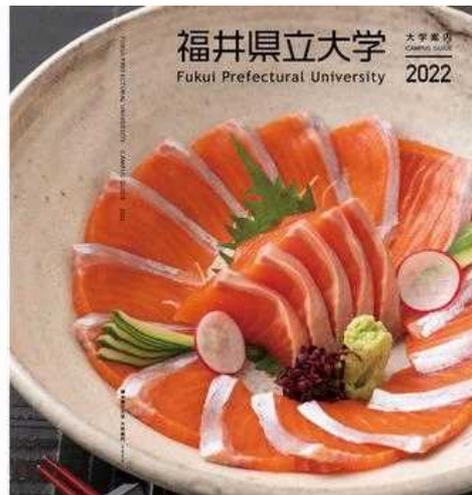
★ 企画運営経験

## 11:25-12:00

- 進行、記録、発表役を決めてください。
- まず、この時間で事前課題の1を共有します。
- 1人3～4分程度で報告し、報告後は質疑応答をしてください。
- 12時になったら、各グループ、昼休憩にしてください。

# 12:00-13:00

お疲れ様です。お昼休憩になります。



# 13:00-13:35

- この時間では事前課題の2と3を共有します。  
⇒イメージとしては、2より3を長めにお願いします。
- 1人3～4分程度で報告し、報告後は質疑応答をしてください。
- 13時35分になったら、ブレイクアウトセッションを一時的に解除して、全体共有にうつります。

# 13:35-14:00

全体共有

---

# 14:00-14:10

お疲れ様です。休憩になります。

休憩後、ブレイクアウトセッションを再開します。

## 14:10-14:45

- この時間では事前課題の4と5を共有します。
- 1人3～4分程度で報告し、報告後は質疑応答をしてください。
- 14時35分になったら、ブレイクアウトセッションを一時的に解除して、全体共有にうつります。

---

## 14:45-15:00

全体共有